

自分を守ることは、周りの人を救う

「新型コロナウイルス感染症が拡大されるにつれ、学校行事の中止や生活内での急な変化で我慢することが増えた生徒も多いと思います。いつまでたっても感染が収まらないのでつい油断してしまう事もあるかもしれません。是非自分の行動を見直してもらいたいです」という言葉を残してくれた大谷さんと川上さん。

そもそも、なぜ感染対策をここまで懸命行わなければならないのか。「そこを考えることが大切です」と大谷さんは教えてくれた。仮に自分の少しの甘えで新型コロナウイルス感染症にかかってしまったら困るのは自分だけではない。自分の周りの人にも迷惑をかけることになりかねない。

インフルエンザウイルスは感染後に高熱が出るなどの身体に異変が生じる。しかし新型コロナウイルスの恐ろしいところのひとつは感染していても、すぐには症状が現れないこともあるということだ。コロナ禍による我慢でストレスがたまりやすいこともあると思うが、無症状の場合もあるので自分の大切な人を守るためだと思って我慢し続けて欲しい。「今の高校生が行っている感染対策は、決してみんなが当たり前に行えることではありません。対策のための行動は自分自身のためだけでなく、周りの人のためと自信を持って行ってください」と川上さんは伝えてくれた。いつ終息するのかは分からないが、諦めずに頑張っていこう。



← 一部員に話をしてくれた大谷さん(左)、川上さん(右)

大学授業にも影響つづく

講座終了後にコロナ禍での大学の様子を聞いた。

実習などの対面でないと出来ない授業は実際に行っているが、それ以外の授業はオンラインで行っているようだ。実習では、ペットシーツの交換や患者さんの体位の移動などを行っている。しかし今まで通りの実習をするわけにいかず、参加人数を減らすなど、

感染症対策をしながら実施している。また、実習に行ける日数は2週間から1週間に短縮。しかも1週間のうち活動できる日は2日に減ってしまったそうだ。

「実習に行く日はしっかりマスクとフェイスシールドをすること、アルコール消毒をすることは徹底しています。また朝と夜に体温を測る事や誰に会って、何をしたかを記入して自己管理をきちんとしています」と出来る限りの対策をして、細心の注意を払っているという。学校生活に大きな響が続いている。



← 大学生に質問する編集部

若い世代の努力を称賛 変化を繰り返す私たちの生活

2面では大学生のおふたりが講義中に話してくださったことや、編集部員が取材した内容を掲載する。また、講座を取材していた兵庫県広報専門員の清水奈緒美さんによるYouTubeの「なおみチャ

ンネル」についても掲載する。

なおみチャンネルには近日中に今回の講座の様子に掲載される予定。興味がある人は是非見て欲しい。

兵庫県ってなんだ? —なおみチャンネル—



↑チャンネルのロゴ

兵庫県の行政情報を高校生などの若い世代の人たちにも興味を持って、理解してもらえるように丁寧に解説してくれている。今回の講座の様子が投稿される予定だ。このチャンネルでは行政の方針、決定が生活を左右するコロナ禍のニュースに出てくる報道、知事会見、発表や資料を分かりやすく兵庫県民の私たちに情報を提供してくれる。レポートをしたり、新型コロナウイルス感染症の対策のための取り組みについての意義や思いについてのインタビューの様子を見ることが出来る。YouTubeで誰でも簡単に視聴することが出来るので興味のある人は上のQRコードから視聴しに欲しい。



YouTubeで見られる「なおみチャンネル」はココから!

記者席

- ・緊張したけど今まで自分が気になっていたことや疑問を質問して知ることが出来たので良かったです。(S. Y)
- ・今回の取材を通して今まで疑問に思っていたことや対策について、丁寧に教えて貰えたので良かったです。(M. Y)
- ・大学生の方々にコロナの対策について詳しく教えてもらうことが出来たので、僕たちもこれからの生活を頑張っていこうと思いました。(N. T)
- ・大学生という近い世代の人とこうして新型コロナウイルス感染症について語り合える機会は、なかなか出来ない貴重な体験だと思うのでいい機会が出来ました。(N. H)
- ・今回の講座で「今の高校生がしている感染症対策は、誰もが出来る当たり前のことでは無い!」と言われてこれからも頑張ろうと思うことが出来ました。(Y. S)